

[#pmconf2020] 自己流から一流プロダクトマネージャーになるために学ぶべきこと

導入

- 自己紹介
 - Tabley社 小城久美子氏
 - ミクシィ→LINE→Tabley (テーブル)
 - Tableyでは及川さんと一緒に働いている
 - エンジニア→プロダクトマネージャー→プロダクトマネージャーのアドバイザー
 - Tableyの活動紹介
- セッションの概要
 - 一流プロダクトマネージャーの定義
 - 今回のセッションではプロダクトマネージャー業務領域の白地図を提供する
 - とはいえ、全範囲いまでできなくても不安に思うことはない
 - なので今回、Discordで、進行中に各項目にリアクションをみなさんしてほしい びえんと言っへん

プロダクトとPMの仕事

- ビジョン実現にあたり、顧客価値と事業価値のバランスが重要
- プロダクトライフサイクルによって、PMの仕事は異なる
- プロダクトをつくることは仮説を検証することである
- プロダクトを育てる仕事 & ステークホルダーをまとめチームを率いる仕事 がある

プロダクトを育てる仕事

- プロダクトを改装に分けて捉えるといふ プロダクトのミルフィーユ構造 上下にいったり来たりして解像度を上げていくべし
- What/Howだけでプロダクトを捉えようとしようもないものができる。Core・Why視点も含めるべし
- Whyまでは一般によく考えられているが、CoreつまりVisionなどから考えるべし ユーザーが欲しい物を作るだけでなくビジョンを達成するかどうかが大変
- Core Why Whatの抽象度を意識する。自社が「誰」を「どんな状態にしたい」のか考える
- 「ユーザー体験」と「ビジネスモデル」どちらも足並みを揃えて高めることをしていく
- Howを任せるとしても、プロダクトマネージャーがプロダクト担保責任はする。完全丸投げはだめ

ステークホルダーをまとめ、チームを率いる仕事

めざすプロダクト志向なチームとは

One more thing...

- Tableyの活動
- スキルアセスメント
- 書籍：来春出版予定
- 研修やnote